日立加湿器 保証書 持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

形名	UV-190D	※お買い上げ日	保証期間
		昭和　年　月　日	本体：1年
※お客様	ご住所 ご芳名		様
※販売店	住所 店名	電話	

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1．保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
(イ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
(ロ)お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
(ニ)業務用に使用されて生じた故障または損傷。
(ホ)本書のご提示がない場合。
(ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
2．この商品について出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3．ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4．贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には別紙の日立家電品ご相談窓口一覧表をご覧のうえ、お近くの窓口にご相談ください。
5．本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
6．本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または別紙の日立家電品ご相談窓口一覧表の窓口にお問い合わせください。
●保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

修理メモ

日立家電販賣株式會社
〒105 東京都港区西新橋2-15-12 電話(03)502－2111

NB23870-A 06H(M)

取扱説明書（保証書付 裏表紙が保証書になっています）

日立加湿器《超音波式》

UV-190D形

このたびは日立加湿器をお求めいただき，まことにありがとうございました。
●この「取扱説明書」をよくお読みになり，正しくご使用ください。
●お読みになった後は「ご相談窓口一覧表」とともに大切に保存してください。

湿度センサー内蔵

もくじ

各部の名称とはたらき

ノズル
360度回転します

本体

湿度表示ランプ

運転ランプ
「30以下」の湿度表示ランプと兼用

渇水ランプ

湿度設定つまみ

加湿量調節つまみ

●背面

コードリール

（収納時電源コードを巻付けておいてください。）

吸気口

運転ボタン

湿度センサー内蔵
セラミックセンサーで湿度を検出し，モニターランプで表示すると同時に設定された湿度に自動的にコントロールします。

ノズル

ノズルガイド
掃除のとき取り外します

水タンク
約4.5ℓ入ります

キャップ

タンクカバー
後方に力を加えると外れます。
（取り付けかたは4ページを参照）

ハケ
掃除用

送風口

差込プラグ

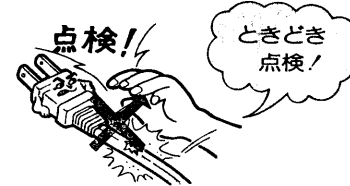
フロート

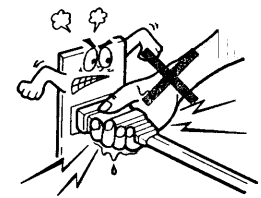
電源コード

振動子

水槽

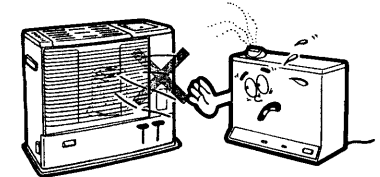
特に注意していただきたいこと

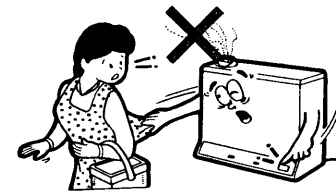
1 電源コードや差込プラグは，点検してから使用してください。

＊いたんだまま使うと，やけど，感電，火災の原因になります。

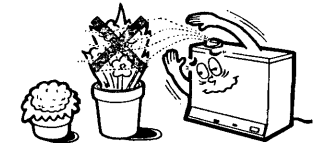
2 ぬれた手で差込プラグを抜きさししないでください。

＊感電の原因になります。

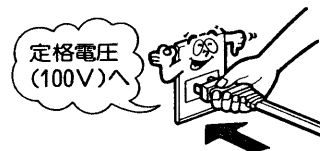
3 水道水以外は使用しないでください。

＊温水(40℃以上)，薬品，洗剤，塩分，香料などを入れると故障の原因になります。

4 石油ストーブなどの上や近くの加熱される所では使用しないでください。

＊故障や火災の原因になります。

5 外出時や使用しないときは，必ず運転ボタンを押して電源を切り，差込プラグを抜いてください。

＊万一故障した場合に，火災や感電の原因になります。

6 この加湿器は室内(居住空間)の加湿専用です。これ以外の目的では使用しないでください。

＊特に業務用や温室での使用，野菜や植物の乾燥防止などで湿度が高くなるところでの使用は，感電，故障，火災などの原因になります。

7 必ず定格電圧(100V)で使ってください。

＊まちがえますと，修理できない故障や火災の原因になります。

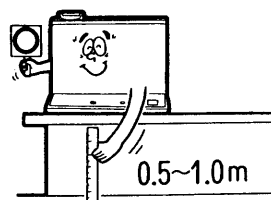
8 吸入器のかわりとしての使用はおやめください。

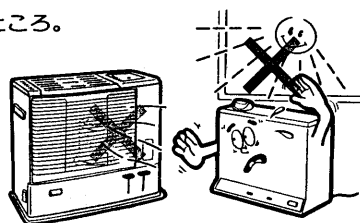
＊むせたり，場合によっては健康によくないことがあります。

置き場所について

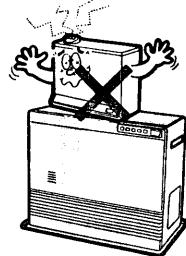
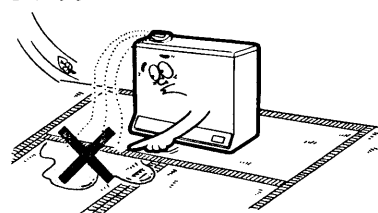
正しい置き場所

1 床面から約0.5～1.0mの棚やテーブルの上などの水平なところに置いて，ノズルをお部屋の中央に向けてお使いください。満水時には，約7kg以上の重さになりますので，しっかりした棚やテーブルの上に置いてください。

2 場所によっては，短波放送やテレビ，FM放送などに雑音が入ることがありますので，できるだけ(2～3m以上)離して置き，別のコンセントに差込んでください。

悪い置き場所

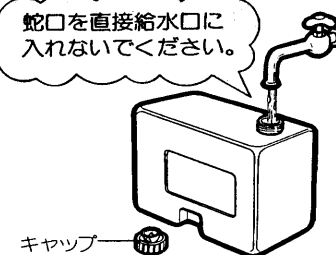
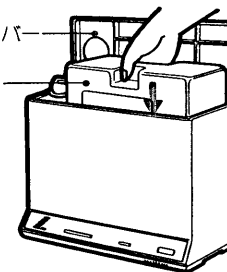
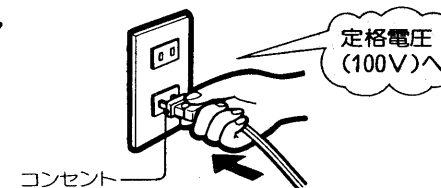
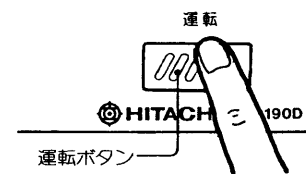
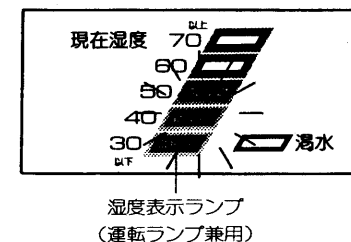
1 **暖房器具などの上や近くで，高温(40℃以上)になるところ。**
輻射熱や温風を直接受けるところ。
直射日光のあたるところ，油のつきやすいところ。
プラスチック部分が変形，変質したり，湿度計の誤動作の原因になることがあります。
また，水タンク内の空気が膨張し，水を押し出して霧の出かたが一時的に少なくなります。

2 **加湿器の霧が直接，家具，楽器類，テレビなどの電気器具，壁，天井などにあたったり，まわりに障害物があるところ。**
家具などにシミや変形ができたり，故障の原因になることがあります。

3 **温風暖房器の上には置かないでください。**
暖房器の熱で湿度センサーが誤動作します。

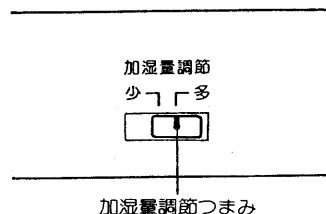
4 **吸気口をふさぐおそれのあるところ。**
吸気口は底面にもありますので，じゅうたんやカーペットの上に直接置かないでください。
霧の出かたが悪くなったり，故障の原因になります。

5 **向い風がある場所や，床の上，広い台の上などには置かないでください。**
湿度が高くなってくると，床や台をぬらします。

正しい使いかた ･･･→

運転・停止

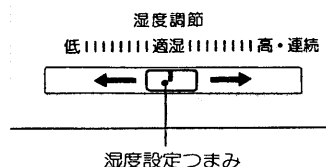
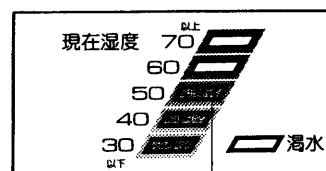
1 **給水してください。**
①タンクカバーをあけ，水タンクを取り出してからキャップをはずし，必ずきれいな常温の水道水を入れてください。
②キャップを確実にしめてから，水タンクを本体にのせタンクカバーをしめてください。

- 給水は，必ず水タンクにしてください。
  水槽に直接給水すると，送風口に水滴が入ったりして，故障や感電のおそれがあります。
- タンクカバーをあけたとき，後方に力を加えると外れるようになっています。
  外れた場合には，本体にタンクカバーを閉じた状態でのせ，後方両コーナ部を上から押して取り付けてください。
- 水タンクは満水時に約4.8kgの重さになります。
  給水は手で持たずに，置いて行なってください。

2 **差込プラグを100Vのコンセントに，差込んでください。**

3 **運転ボタンを押してください。**
湿度表示ランプが点灯し，ノズルより霧が出ます。

4 **運転を停止するときは，もう一度運転ボタンを押してください。**
湿度表示ランプが消灯し，霧の出も止まります。

加湿量の調節と湿度設定のしかた

1 **加湿量調節つまみで「多」か「少」の加湿量を選択してください。**

加湿量は，室温20℃,(水温20℃)のとき，「多」で約0.5ℓ/時，「少」で約0.25ℓ/時です。

2 **湿度設定つまみを希望の位置に設定してください。**

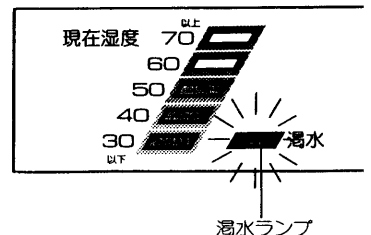
湿度の設定範囲は，「低」(約30%)から，「高」(約90%)までです。

- 通常は「適湿」の位置(設定湿度は約50%)でお使いください。
- 「連続」位置は，室内の湿度に関係なく，連続運転しますが，湿度が上がりすぎるときは，連続運転はやめてください。
- 「湿度表示ランプ」は，現在の室内(加湿器前面付近)の湿度を表示します。
「30以下」のランプは運転ランプと兼用です。

ご注意

- 湿度表示ランプは，暖房気流が当ったり，直射日光で暖められたりすると室内の湿度と異なる表示をします。また運転初期(約30分間)はやや高めの表示となる場合があります。目安としてご使用ください。
なお，同じ部屋でも場所や高さにより湿度が異なり，他の湿度計と指示差が出る場合もあります。
- 設定された湿度に達すると，霧は出なくなりますが，ファンは回っています。
加湿を必要としないときは運転を止めてください。

●「渇水ランプ」が点灯したときは

ブザーが鳴って，渇水ランプが点灯したときは，水タンクに水を補給してください。

水タンクの水がなくなると，自動的に噴霧が止まり，ブザーが約10秒間鳴って，赤い渇水ランプが点灯します。
運転ボタンを押して電源を切ってから水を補給してください。

湿度の簡単な見分けかた

暖房中の快適な湿度は50%前後といわれていますが，結露による悪影響を防止するために，次のような点に注意して，加湿器を運転してください。

状　　況	湿　度
①比較的寒い北側の押入れなどに露がついたり，湿っぽい感じがする。 ②窓や壁に露がたくさんつき，流れ出している。	高すぎる。
①くちびるやのどがかわき，皮膚がカサカサする。 ②家具などのすきまが大きくなり，建具がそる。	低すぎる。

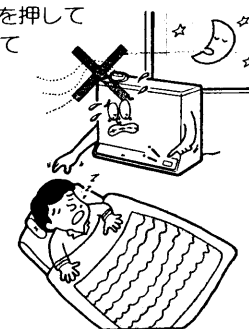
ご注意

①暖房されていない部屋や，暖房しはじめの寒い部屋の場合，加湿器をすぐに使用すると，部屋の床や壁などは冷たいため，加湿器の霧が水滴となって付くことがあります。部屋の温度が上がってから加湿器を運転してください。

②非常に冷たい水を水タンクに入れると霧の温度が低く空気にとけ込みにくいため，霧が水滴となって落ちることがあります。

③「湿度の簡単な見分けかた」は目安です。気密性の良い部屋などでは50%前後の湿度でも，温度の低い窓などに結露する場合があります。

●暖房を止めたときは，加湿器も止めましょう

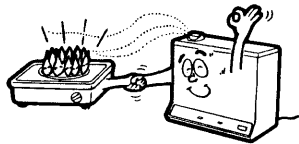
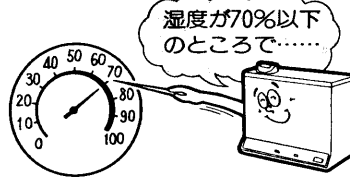
運転ボタンを押して電源を切ってください。

- 暖房を止めた部屋で使用すると室温も下がり湿度が上昇しますので，おやすみのときなどはとくにご注意ください。

使用水のご注意

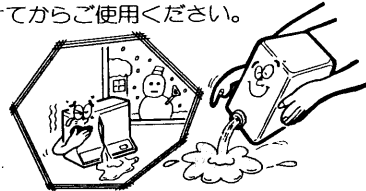
- ○水タンクの水は，毎日新しい清潔な水と入れかえてお使いください。
- ○水質によっては，水中にとけているカルシウムなどが，水分蒸発後残留物として白い粉になり，テレビや家具などに付着することがあります。
このような場合には柔かい布で，早めにふきとってください。

- ○白い粉がたくさん付く場合は，別売の加湿器用純水器(栗田工業株式会社製X-303形)をご使用になりますと，白い粉発生の防止に効果があります。

一般的なご注意

1 炎色反応について
加湿器を燃焼器具などの近くでご使用になりますと水中にとけているカルシウムなどが炎と反応して，炎が赤味をおびることがありますが，心配はありません。

2 湿度の高い(70%以上)ところでは使わないでください。
湿度が高いときには，霧が空気中にとけこまないで，家具や床を湿らせたり，ぬらすことがあります。

3 倒さないでください。
誤って本体を転倒させたときは，必ず差込プラグを抜いてください。
プラグを抜かないと振動子がこわれます。

4 凍結の恐れのあるときは
水タンクと水槽内の水を捨ててください。
水タンクが割れたり故障の原因となることがあります。万一凍結したときは完全にとけてからご使用ください。

5 超音波の水柱に手を触れないでください
水柱に手を触れると痛みを感じたりします。また，運転中はノズルやタンクカバーをはずさないでください。水が飛びちり周囲をぬらしたり，加湿器内に水がはいり，故障の原因になります。

6 洗剤や薬品などが少量でも混入すると
霧が出なくなることがあります。
霧が出なかったり，出かたが悪いときは，8ページの「お手入れのしかた」を参照して本体水槽内や水タンク内の清掃を行なってください。
＊石けん，洗剤，薬品などは，絶対に入れないでください。

お手入れと保存
お手入れの前に，必ず運転を止め，差込プラグをコンセントから抜いてください。

お願い　本体水槽部はつねに清潔にしてお使いください。

水タンクの水は毎日新しい水道水と入れ換え，本体水槽部は，１週間に１～２回程度次の要領で掃除し，いつも清潔にしてお使いください。
そのまま使用を続けますと，よごれや水あかで，加湿量が低下したり，カビや雑菌が繁殖し，悪臭がすることがあります。また，まれに体質によっては敏感に反応し健康によくないことがありますが，この場合は使用のたび（毎日）掃除してください。

お手入れのしかた

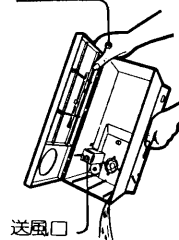
1 水タンク内の清掃(週２回)
水タンク内に水を半分(約２ℓ)ほど入れ，キャップを締めて水タンクを振り，排水してください。
これを２～３回繰り返します。

水タンク

2 本体の水の抜きかた
①タンクカバーをあけ，水タンクとハケを取り，ノズルとノズルガイドを上に引いてはずしてください。
②図のような方向（左側前面のコーナー部）に本体を静かに傾け排水してください。
急に本体をさかさまにして排水しますと水が送風口に入り故障の原因になります。

押さえる
送風口

ご注意
図の方向以外に傾けて排水しないでください。タンクカバーがたおれて手をはさんだり，故障や感電のおそれがあります。

3 水槽の清掃(１週間に１～２回)
本体の水を抜いてから水槽内および振動子表面を，ハケまたは，やわらかい布などで清掃してください。水あかが強固に付着している場合はハケの柄の先端を使用してください。ドライバーの先などの固いものでは清掃しないでください。振動子に傷をつけて故障の原因となります。

4 本体・ノズルガイド，ノズル等の清掃
本体は水を含ませた柔らかい布で，汚れをふきとってください。
ノズルガイド・ノズルは水洗いしてください。

ご注意
- ベンジン，シンナー等でふかないでください。加湿しなくなったり，変色や変形の原因となります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は，その注意書にしたがってください。
- 水タンクや本体(とくに水槽内)の清掃には，洗剤，薬品等は絶対に使用しないでください。少量でも水にまざると加湿しなくなります。
- 清掃後は，本体にノズルガイドを取りつけ，ノズルガイドにノズルを取りつけた後，水タンクをセットし，タンクカバーをしめてご使用ください。

おしまいになるときは
お手入れをしたのち，水槽，水タンク，ノズルガイド，ノズルの水分をふきとり，陰干しし十分乾燥させてから，取扱説明書とともにお買い上げ時の箱に納めて湿気の少ない所に保存してください。

ご注意
内部に水が残ったままで長時間放置しますと，水が蒸発したあとに生じる水あかが振動子の表面に強固に付着し，次に使用するとき霧が出なくなったり，掃除しても水あかがとれなくなりますので，必ず残り水を捨ててください。

アフターサービスと保証について

使用中に異常が生じたときは

修理を依頼される前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ，下表の点検をしていただき，それでも不具合な場合はご自分で修理なさらないで，お買い求めの販売店にご相談ください。

●アフターサービスについてご不明の場合，その他お困りの場合は，お買い上げの販売店か別紙（黄色用紙「日立家電品ご相談窓口一覧表」）のご相談窓口にお問い合わせください。

つぎの場合は異常ではありません

症状	点検するところ	直しかた
風も霧も出ない 運転ランプが点灯していない	差込プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか	差込プラグを確実にコンセントに差し込む
運転ランプは点灯し，風も出ているが，霧が出ない	「現在湿度」が「設定湿度」より高くなっていませんか	そのままにしておきます。（「現在湿度」が下がると運転します）
	湿度の設定が低すぎていませんか	適切な位置に設定し直す
	加湿器が傾いていませんか	水平な場所に置き直す
	フロートに水あかや鉄片が付着していませんか	フロートを掃除する
	振動子の表面に水あかなどが付着していませんか	「お手入れのしかた」を参照して掃除する
霧の出かたが少ない	加湿量調節つまみが「少」になっていませんか	「多」の方に設定し直す
	水温や室温が低くありませんか	水温だけが低いときはしばらく運転すると正常になります。室温が低いときは運転を止める
	本体内に多量に水が入っていませんか（底から3cm以上の深さ）	いったん本体内の水を捨ててから水タンクをセットし直す
	油や洗剤などが水に混入していませんか	「お手入れのしかた」を参照して，水タンクと水槽の掃除をする
室内の湿度が高くなっても止まらない	湿度の設定が高すぎていませんか	適切な位置に設定し直す
	本体に直射日光や強い光があたっていませんか	置き場所を変える
	温度の高いところに置かれていませんか	熱の影響を受けにくい場所に移す
湿度表示ランプの指示がおかしい	温度の高い所または低い所に置かれていませんか	温度の影響を受けにくい場所に移す

場合によってはジィーという発振音が聞こえることがあります。これは超音波エネルギーを水に照射して霧化させるための音です。

保証について

●この商品は保証書付きです。
●保証書は販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので，記載内容をご確認いただき，大切に保存してください。
●保証期間は，お買い上げの日から１年間です。
なお保証期間中でも有料になることがありますので，保証書をよくお読みください。
●保証期間経過後の修理については，販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は，お客様のご要望により有料修理いたします。
当社は販売店からの注文により，補修用性能部品を販売店に供給します。

転居される場合

ご転居により，お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は，前もって販売店にご相談ください。
ご転居先での日立家電品の取扱店を紹介させていただきます。

部品の保有期間について

当社は，この加湿器の補修用性能部品を，製造打切後最低５年間保有しています。

お客様メモ…後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるときお役に立ちます。

ご購入年月日	昭和　　年　　月　　日
購入店名	電話（　　－　　）

仕様

形式	UV-190D
電源	単相100V 50-60Hz共用
消費電力	47W
貯水量	4.5ℓ
適用床面積	17㎡（10畳）

加湿量	（多）0.5ℓ/時　（少）0.25ℓ/時 （室温20℃，湿度30%，水温20℃のとき）
コード長さ	2ｍ
寸法	幅350×奥行160×高さ297mm
重量	3.3kg

日立家電販賣株式會社　　日立熱器具株式會社
〒105 東京都港区西新橋２－15－12
電話（03）502－2111